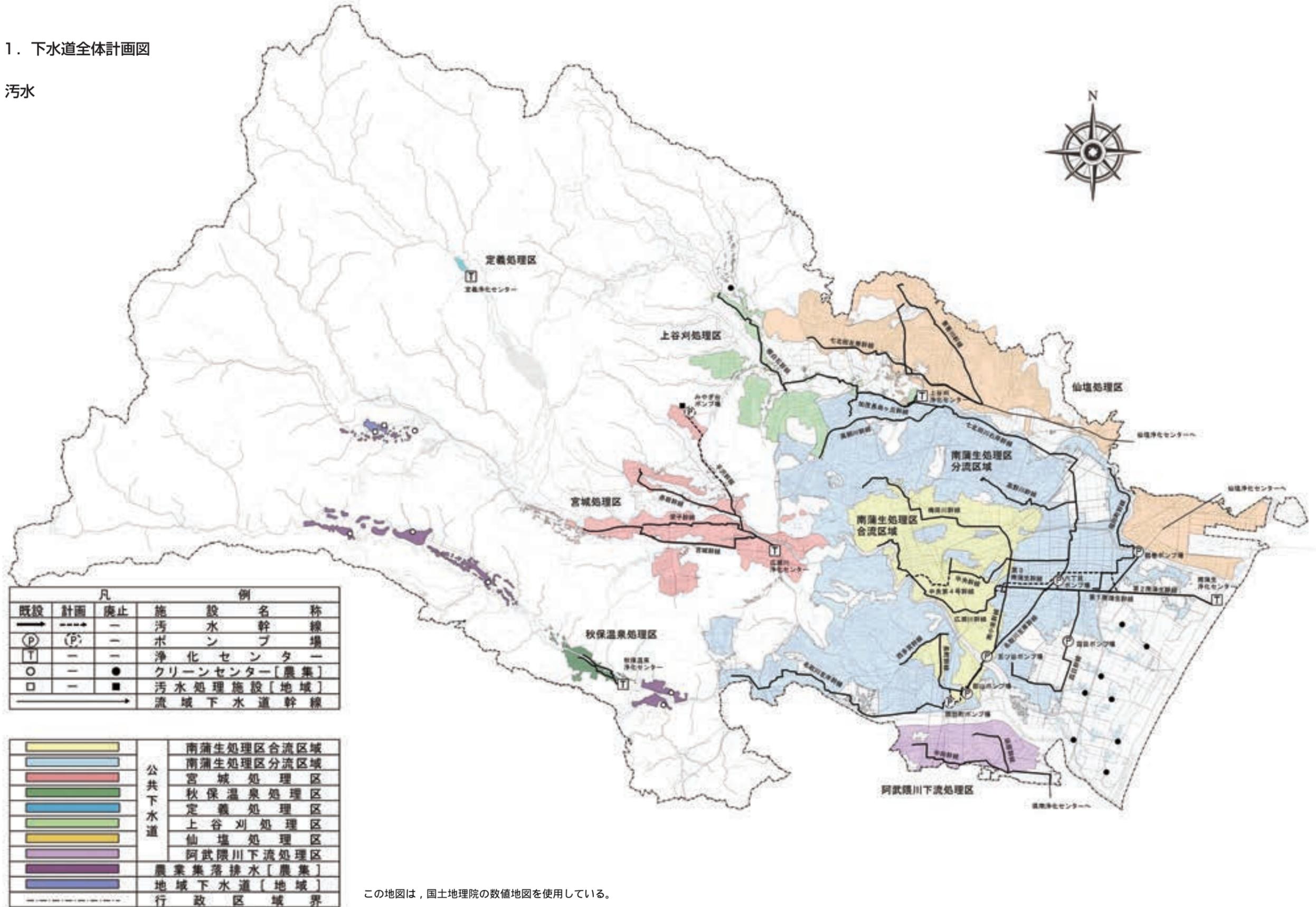


第6章 参考資料

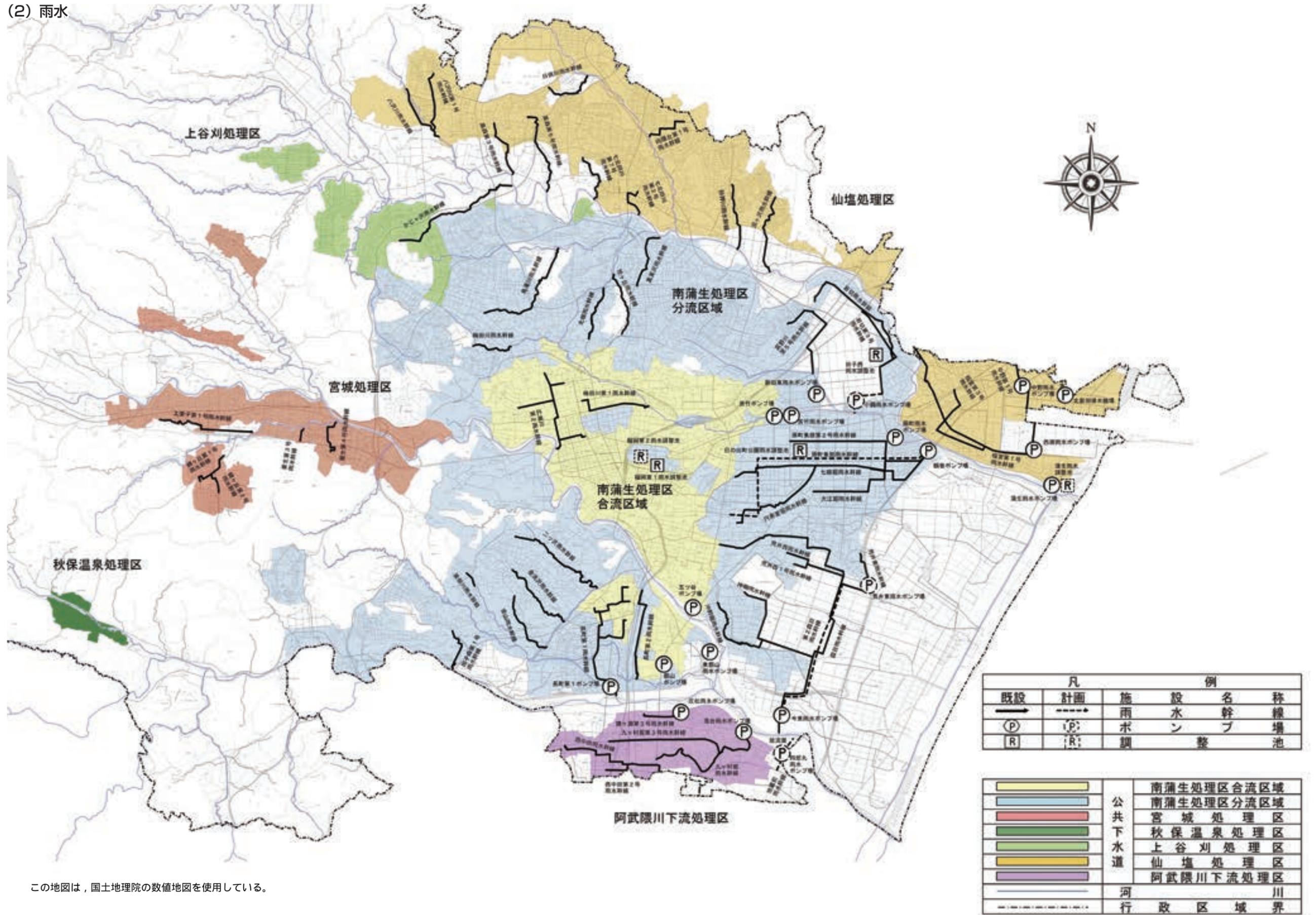
6-1. 下水道全体計画図

(1) 汚水



この地図は、国土地理院の数値地図を使用している。

(2) 雨水



この地図は、国土地理院の数値地図を使用している。

## 6-2. 仙台市下水道事業年表

年	できごと
慶長 5 (1600)	伊達政宗公, 仙台を居城とする
元禄17 宝永元 (1704)	四ツ谷用水完成
明治22 (1889)	市制施行
24 (1891)	下水道計画のための測量に着手
31 (1898)	仙台市下水道計画を策定
32 (1899)	第1期下水道工事に着手
35 (1902)	全国初で下水道法(旧)に基づく築造認可を受ける
36 (1903)	全国初の「仙台市下水道誌(上篇)」を発行 全国初の下水道管理規定を制定
大正12 (1923)	仙台市営上水道給水開始
昭和 5 (1930)	仙台市下水道条例(旧)を制定
12 (1937)	仙台市下水道誌を発行
32 (1957)	第1次下水道事業計画の認可を受ける
35 (1960)	仙台市下水道条例(現行)を制定
36 (1961)	建設局下水道部を設置
39 (1964)	南蒲生下水処理場において, 下水処理(簡易処理)を開始 下水道事業特別会計を設置
40 (1965)	仙台市下水道条例に下水道の使用料規定を盛り込む
42 (1967)	仙台市公共下水道基本計画を策定
49 (1974)	「広瀬川の清流を守る条例」を制定
52 (1977)	上谷刈下水処理場供用開始
53 (1978)	宮城県沖地震の発生
54 (1979)	南蒲生下水処理場において, 高級処理を開始
55 (1980)	新川団地, 新川別荘団地各汚水処理施設供用開始
57 (1982)	阿武隈川下流域関連公共下水道事業の認可を受ける
61 (1986)	8.5豪雨(台風10号)により六丁目ポンプ場ほかに被害が発生 仙台市下水道整備10箇年計画を策定
62 (1987)	下水道局を設置 宮城町と合併
63 (1988)	泉市及び秋保町と合併 秋保温泉浄化センターにおいて, 下水処理を開始 仙台市公共下水道宮城処理区を創設し, 事業認可を受ける
平成 元 (1989)	政令指定都市移行
2 (1990)	地方公営企業法の一部適用(財務規定等)開始
4 (1992)	下水道施設などの関連施設の維持管理を財団法人仙台市下水道公社へ委託 合流式下水道改善事業の認可を受ける
5 (1993)	広瀬川浄化センターにおいて, 下水処理(高度処理)を開始 仙台市総合的治水計画を策定

第6章 参考資料

年	できごと
6 (1994)	仙台市公共下水道基本計画を改定
8 (1996)	南蒲生スラッジセンター稼働
9 (1997)	仙台市汚水処理適正化構想を策定
10 (1998)	定義浄化センターにおいて、下水処理（高度処理）を開始 仙台市下水道100年史を発行
11 (1999)	仙台市人口100万人突破
12 (2000)	仙台市下水道基本計画を改定 農業集落排水事業が経済局から下水道局へ移管 市役所内部に雨水対策委員会を設置
13 (2001)	雨水流出抑制実施要綱を制定
15 (2003)	建設局と下水道局が統合 浄化槽事業が環境局から建設局へ移管 仙台市汚水処理適正化構想を改定
17 (2005)	農業用水路「六郷堀・七郷堀」への通年通水開始
21 (2009)	汚水処理施設整備が概成
22 (2010)	仙台市煉瓦下水道が（公社）土木学会の選奨土木遺産に認定
23 (2011)	東日本大震災の発生（南蒲生浄化センターが壊滅的な被害を受ける）
25 (2013)	下水道事業アセットマネジメントを本格導入
26 (2014)	アセットマネジメントに関する国際規格ISO55001認証取得
27 (2015)	第3回国連防災世界会議のパブリックフォーラムとして、「2015 下水道防災シンポジウム in 仙台」を開催

6-3. 仙台市基本計画の変遷

年	概要
昭和42 (1967)	<p>仙台市公共下水道基本計画を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●都市計画の見直しに合わせた計画区域の拡大</li> <li>●分流式下水道の採用</li> <li>●活性汚泥法による高級処理を位置付け</li> </ul>
平成 6 (1994)	<p>仙台市公共下水道基本計画を改定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基本方針に①環境対策の展開、②浸水安全度の向上、③新たな事業の展開の3つを位置付け</li> <li>●市街化区域の拡大に合わせた計画区域の拡大</li> <li>●雨水の整備水準として10年確率降雨を採用</li> <li>●改築・更新や資源の有効利用を位置付け</li> </ul>
12 (2000)	<p>仙台市下水道基本計画を改定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●6つの方向性を位置付け</li> <li>①衛生的で快適な生活の実現</li> <li>②雨に強い街づくり</li> <li>③健全な水環境の形成</li> <li>④防災機能の向上</li> <li>⑤都市機能の維持</li> <li>⑥循環システムの構築</li> </ul>

## 6-4. 仙台市下水道マスタープランの策定経過

本マスタープランの策定にあたっては、関係分野の有識者7名で構成する「仙台市下水道マスタープラン検討委員会」を設置し、平成26年7月から6回にわたり、下水道事業が抱えるさまざまな課題や今後の施策の方向性などについて、ご提言をいただきながら検討を進めました。

### (1) 仙台市下水道マスタープラン検討委員会名簿

(副委員長以下五十音順, 敬称略, 平成27年7月現在)

氏名	所属等	備考
大村 達夫	東北大学未来科学技術共同研究センター 教授	委員長
遠藤 銀朗	東北学院大学工学部環境建設工学科 教授	副委員長
岩谷 芳江	特定非営利活動法人仙台・みやぎ消費者支援ネット 理事	
佐藤 裕弥	株式会社浜銀総合研究所 シニアフェロー	
高橋貴美江	仙台商工会議所中小企業支援部 部次長	
久田 真	東北大学大学院工学研究科 教授 インフラマネジメント研究センター センター長	
松八重一代	東北大学大学院工学研究科 准教授	

### (2) 仙台市下水道マスタープラン検討委員会開催経過

年月日	会議	内容
平成26年 7月 3日	仙台市下水道マスタープラン検討委員会 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現行の仙台市下水道基本計画の進捗について</li> <li>● 社会情勢の変化と課題認識について</li> <li>● 基本方針について</li> </ul>
平成26年 7月30日	仙台市下水道マスタープラン検討委員会 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仙台市下水道事業におけるアセットマネジメントの取組みについて</li> <li>● 南蒲生浄化センター現場視察</li> </ul>
平成26年 8月25日	仙台市下水道マスタープラン検討委員会 (第3回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本方針1～3にかかる施策や主な取組みについて</li> </ul>
平成26年10月16日	仙台市下水道マスタープラン検討委員会 (第4回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本方針4～6にかかる施策や主な取組みについて</li> </ul>
平成27年 1月19日	仙台市下水道マスタープラン検討委員会 (第5回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下水道マスタープラン (中間素案) について</li> </ul>
平成27年 7月15日	仙台市下水道マスタープラン検討委員会 (第6回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パブリックコメントの結果と本市の考え方について</li> <li>● 下水道マスタープラン (最終案) について</li> </ul>